

給与支払報告書(総括表)

指 定 番 号

市町村長殿

令和 年 月 日提出

給与の支払期間	令和 年 月 分から 月分まで										
給与支払者の 個人番号又は法人番号											
フリガナ											
給与支払者の 氏名又は名称		事業種目									
所得税の源泉徴収 をしている事務所 又は事業の名称		受給者員 人									
フリガナ		特別徴収対象者 人									
同上の所在地	〒	普通徴収対象者 (退職者) 人									
給与支払者が 法人である場合 の代表者の氏名		普通徴収対象者 (退職者を除く) 人									
連絡者の氏名、 所属課、係名 及び電話番号	氏名 (電話)	報告人員の合計 人									
関与税理士等の氏名 及び電話番号	氏名 (電話)	所 税 務 署 名 税務署									
		給与の支払方法 及びその期日									
		納入書の送付 必要・不要									

第17号様式記載要領

- この給与支払報告書(以下「報告書」という。)は、地方税法(以下「法」という。)第317条の6第1項又は第3項に規定する給与について使用してください。
- 給与の支払をする者で、給与所得について所得税を源泉徴収する義務のあるものは、次により関係市町村に報告書を提出してください。
(イ) 1月1日現在において給与の支払を受けている者 1月31日まで
(ロ) 給与の支払を受けている者のうち給与の支払を受けなくなったもの 退職した年の翌年の1月31日まで
- 「指定番号」欄には、提出先の市町村が定める指定番号を記載してください。
- 「給与の支払期間」欄には、「報告人員の合計」欄で計上された人員に給与を支払った期間を記載してください。
- 「給与支払者の個人番号又は法人番号」欄には、給与支払者の個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。)又は法人番号(同条第16項に規定する法人番号をいう。)を記載してください。なお、個人番号を記載する場合は、左側を1文字空けて記載してください。
- 「給与支払者が法人である場合の代表者の氏名」欄には、経理責任者の職氏名を記載してください。給与支払者が国の機関である場合には、国の機関名を記載してください。
- 「連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号」欄には、この報告書について応答する者の氏名、所属課、係名及びその電話番号を記載してください。
- 「関与税理士等の氏名及び電話番号」欄には、税理士等が報告書を作成する場合に、報告書に関する問合せ先となる税理士等の氏名及び電話番号を記載してください。
- 「受給者総人員」欄には、1月1日現在において給与の支払をする事務所、事業所等から給与等の支払を受けている者の総人員を記載してください。
- 「特別徴収対象者」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する者で、特別徴収の対象となるものの人員を記載してください。
- 「普通徴収対象者(退職者)」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する者で、普通徴収の対象となるもののうち退職者の人員を記載してください。
- 「普通徴収対象者(退職者を除く)」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する者で、普通徴収の対象となるもののうち退職者を除いた人員を記載してください。
- 「報告人員の合計」欄には、「特別徴収対象者」欄、「普通徴収対象者(退職者)」欄及び「普通徴収対象者(退職者を除く)」欄の人員の合計を記載してください。
- 「給与の支払方法及びその期日」欄には、月給、週給等及び毎月20日、毎週月曜日等と記載してください。

特別徴収

〔6月以降の給与から給料天引により住民税を徴収する方〕

提出前に再確認をお願いします

- ☐ フ リ ガ ナ
- ☐ 生 年 月 日
- ☐ 個 人 番 号
- ☐ 前 職 分
- ☐ 控除対象配偶者氏名・個人番号
- ☐ 控除対象扶養親族氏名・個人番号
- ☐ 16歳未満扶養親族氏名・個人番号
- ☐ 住宅借入金控除可能額
- ☐ 居住開始年月日
- ☐ 報 告 人 数

特別徴収税額の納入書

必要 ・ 不要

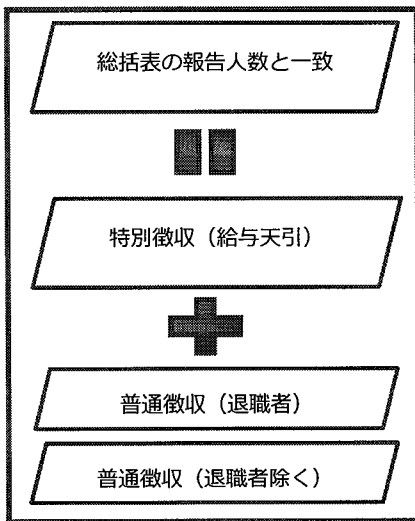
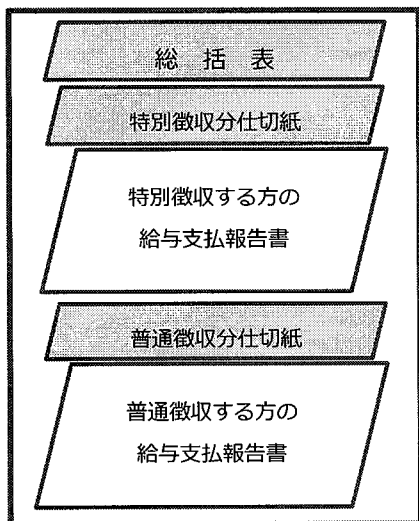
事業所名

指定番号

人 数

人

下図のように重ねて提出してください。



普通徴収

〔給与所得者は原則特別徴収となります〕

提出前に再確認をお願いします

- ☐ フ リ ガ ナ
- ☐ 生 年 月 日
- ☐ 個 人 番 号
- ☐ 前 職 分
- ☐ 普 通 徴 収 切 替 理 由
- ☐ 控除対象配偶者氏名・個人番号
- ☐ 控除対象扶養親族氏名・個人番号
- ☐ 16歳未満扶養親族氏名・個人番号
- ☐ 住宅借入金控除可能額
- ☐ 居 住 開 始 年 月 日
- ☐ 報 告 人 数

事業所名

指定番号	
人 数	人

普通徴収切替理由書

竹原市長 様

普通徴収として取り扱う給与受給者の人数と切替理由ごとの内訳は次のとおりです。

普通徴収切替理由	記号	略号	人数
退職者・5月末日までに退職予定の方（休職者含む）	A	退職等	人
給与の毎月支給額が少なく、特別徴収しきれない方	B	少額	人
給与が毎月は支給されない方（不定期支給）	C	不定期	人
他の事業主から特別徴収されている方（乙欄該当者）	D	乙欄	人
普通徴収対象者 合計人数			人



該当がある場合は、個人別明細書の摘要欄に、上記A～Dの記号と略号を必ず記入してください。